

一般財団法人山根奨学基金提出書類一覧

希望者は本 PDF ファイル6ページ目以降の奨学金概要を確認の上、
以下を揃え、6月7日(金)までに下記奨学金担当窓口へご提出ください。

① 学内選考用として:内部選考用願書	
2～3頁目に様式あり	
② 学内選考用として:所得関係書類 ※写し可	
父母又は父母に代わる全ての家計支持者について、下記リストの中から該当する全ての証明書類を提出してください。学生本人及び、配偶者に定職がある(あった)場合も提出が必要です。	
給与所得者	最新(2018年分)の源泉徴収票
商工農林水産業所得者	最新(2018年分)の確定申告書(第1表及び第2表)本人控
失業保険受給者	雇用保険受給資格者証
年金受給者	最新の年金振込通知書 又は 年金額改定通知書
2018年1月以降に 就職・転職した場合	給与支払(見込)証明書 ※別紙様式あり 又は 直近3か月分の給与明細書
その他の収入がある場合	その金額が証明できる書類 (生活保護、児童手当、傷病手当等)
現在、無職・無収入の場合	無職・無収入申立書 ※別紙様式あり 最新の所得証明書を(あれば退職日証明書も)添付して提出。
③ 財団提出用として:山根奨学基金奨学生願書	
10頁目に様式あり	
④ 財団提出用として:奨学金申込理由書・将来計画	
11頁目に様式あり	
⑤ 財団提出用として:推薦書	
12頁目に様式あり。指導教員の先生に作成を依頼してください。	
⑥ 財団提出用として:学業成績証明書	
学部1年～最新の成績まで反映されていること。大学院生も学部時代の成績を提出すること。	
⑦ (該当者のみ)学内選考用として:控除関係書類 ※写し可	
障害のある家族がいる場合	障害者手帳
長期療養中の家族がいる場合	診断書
1年以内に世帯が火災、風水 害等の被害を受けた場合	罹(被)災証明書及び、罹災(被災)被害額がわかるもの

提出先) 本郷キャンパス学生支援センターM階奨学厚生課窓口(9:00～17:00)

※締切後学内選考を行い、選考に通過した方(=推薦候補者)へのみ

6月14日(金)までにその旨メールにてお知らせします。

注)別紙記入例を参考に作成すること。手書き、PC上での入力どちらも可。但し、右頁(2頁)の最終枠は自署・押印が必要です。
手書きの場合、鉛筆記入不可。★印のところは該当のものを○で囲んでください。

年 月 日 提出

内部選考用願書(民間団体奨学金)

学生証番号

出願者	氏名		★課程	所属			学年	
	フリガナ		学部 修士 博士 専門職学位	学部 研究科	学科 専攻			
	氏名			年 月	★入学・進級		年次	
進学内定先 ※予約採用型奨学金の申込時のみ記入			大学大学院	研究科	★修士・博士・専門職	年 月	入学・進学見込	
就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	職業	勤務先	在籍年数		
	※同一人で2種類以上の所得がある場合は、2段に分けて記入すること							
	父					年 月		
	母					年 月		
						年 月		
家族および所得	続柄	氏名	年齢	★設置者	在学学校名	学年	★通学区分	
	本人			国立	東京大学	年	自宅・自宅外	
				国公立		年	自宅・自宅外	
				国公立		年	自宅・自宅外	
				国公立		年	自宅・自宅外	
[該当する場合は記入すること]								
①父または母と死亡・生別の場合 (続柄:) (その時期: 年 月) (理由 のため)								
②家計支持者が無職・無収入の場合 (続柄:) (その時期: 年 月) ※別紙「無職・無収入申立書」の提出も必要です。								
障害関係	続柄	氏名	疾病の程度	★種別	月平均療養費	手帳番号		
			年 月から	心身障害・公害障害・長期療養 原爆被爆(障害の有・無)・要介護				
			年 月から	心身障害・公害障害・長期療養 原爆被爆(障害の有・無)・要介護				
奨学金および授業料免除	日本学生支援機構の奨学金				民間団体及び地方公共団体の奨学金			
	★現在: 受給中・予約採用者・申請中・いずれも該当しない				★現在: 受給中・予約採用者・申請中・いずれも該当しない			
	★種別: 給付型・貸与型一種・貸与型二種				団体名:			
	月額: 円				★種別: 給付型・貸与型			
	支給期間: 年 月 ~ 年 月				月額: 円			
				支給期間: 年 月 ~ 年 月				
				★併給: 可・不可				
★授業料免除								
2018年度前期: 全額免除・半額免除・不許可・申請していない								
2018年度後期: 全額免除・半額免除・不許可・申請していない								
2019年度前期: 全額免除・半額免除・不許可・申請中・申請しない								

本人履歴

年 月 () 高等学校卒業・大学入学試験検定合格

年 月～ 年 月

年 月～ 年 月

年 月～ 年 月

年 月～ 年 月

身分異動

★留学・休学等の身分異動 ※今後予定している場合も必ず明記すること

有 . 無

年 月～ 年 月 異動事由:

年 月～ 年 月 異動事由:

本人収入状況

区分	勤務先など	収入金額(万円)	趣味・特技・クラブ活動・ボランティア活動など
定職		月額or年額 万円	
アルバイト		月額or年額 万円	
父母からの給付(授業料・生活費等含)		月額or年額 万円	
その他 (内容:)		月額or年額 万円	

研究

研究分野・テーマ :

研究概要(学習内容) :

連絡先

本人

(〒 -)

自宅電話番号【

携帯電話番号【

メールアドレス【

携帯メールアドレス【

家族

(〒 -)

電話番号【

その他

★ 希望団体以外の奨学金に欠員があった際の推薦希望確認。

推薦を希望する (給与型奨学金 ・ 貸与型奨学金) ・ 推薦を希望しない

家庭事情欄

※ 奨学金を希望する理由や、特記すべきことを具体的に記入すること。

以上の記載事項に相違ありません。

年 月 日

本人氏名 (印)

(自署)

.....

<申請者本人> _____ 学部・研究科(学生証番号: _____)
氏名: _____

給与支払(見込)証明書

<勤務者> 氏名: _____ (申請者本人との続柄: _____)

就職年月日		年 月 日				
給 与 等	最近3ヶ月間の月収	年 月分	円			
		年 月分	円			
		年 月分	円			
	賞与の有無(○で囲む)	有 ・ 無				
	年間支払(見込)金額 (採用月から1年分を記入)	年 月から 年 月まで	円			
扶 養 家 族	氏名	続柄	年齢	氏名	続柄	年齢

注1)「最近3ヶ月の月収」及び「年間支払(見込)金額」には所得税法上非課税となる通勤に要する手当には含みません。
注2)「年間支払(見込)金額」には、賞与、臨時手当等も含まれます。

上記の者は、本社・事業所に勤務しており、給与支払(見込)額は上記のとおりであることを証明します。

年 月 日

会社・事業所名 _____

住所 _____

電話番号 _____

支払担当者 _____ 印

<申請者本人> _____ 学部・研究科(学生証番号: _____)
氏名: _____

無職・無収入申立書

東京大学総長 殿

私は、_____年度 内部選考をおこなう民間団体奨学金の申請時現在、無職、もしくは無収入であることを、下記のとおり申し立てます。

申立人氏名 (署名・印)	印	申請者本人 との続柄	
無職(無収入)理由・・・無職である事情、現在の生活状況、前職からの経緯等 詳しく書いてください。			
申立人前職業		退職(離職)年月日	年 月 日
就業の見込み	有(年 月予定)・無	雇用保険の受給	有(年 月受給開始予定)・無
現在の 生活費の出所		年金受給の予定	有(年 月受給開始予定)・無

注1) 奨学金申請者本人の父母(又は父母に代わる家計支持者)が、無職もしくは無収入である場合は本紙を提出してください。65歳以上で、所得証明書により無職であることが確認できる場合、提出不要です。

注2) 最新の所得証明書に所得の記載がある場合は、退職証明書等、現在その収入がないことを証明する書類を添付して提出してください。

山根奨学基金のご案内

日本初の女性外交官として、わが国のみならず広く諸外国の人々からも、その将来に大きな期待をかけられていた山根敏子さんが、惜しくも飛行機事故の犠牲となられて50余年になります。その山根敏子さんを記念して設立された山根奨学基金も、2010年には50周年を迎えました。

この奨学基金は、山根さんの遺志を継ぐ女子学生のうち、特に国際問題に関心を持つと同時に将来、世界人類の平和と幸福に貢献するため、国際社会において活躍する意思と情熱を持つ女性を育成し、その勉学の一助とすることを目的として設立されたものであります。

一般財団法人山根奨学基金概要 (2019年3月31日現在)

設立(認可)年月日 1960年8月18日

目的 一般有為の女子学生のうち、特に国際関係を専念し、将来官途にあると、民間にあるとを問わず、世界人類の平和と幸福を増進するため、国際場裡において活躍し、もって故山根敏子氏の遺志を継承するに足る人材を育成することを目的とする。

事業 (1) 学資金の給与 (2) 学資金を受ける学生の指導
(3) その他目的を達成するために必要な事業

設立時の資産総額 金 1,137,122 円

2018年度末基本財産総額 金 10,000,000 円

給与奨学金合計額 金 42,948,000 円 (2018年度末現在)

年間事業費 金 1,500,000 円
(2018年度年間1人あたり 30万円×5名)

法人役員 代表理事 飯野 正子 他 理事6 監事2 評議員6

大学別奨学生数 1961年～2018年度

津田塾大学	104名	国際基督教大学	40名	上智大学	23名
日本女子大学	17名	東京女子大学	16名	東京大学	11名
早稲田大学	10名	東京外国語大学	9名	慶應義塾大学	9名
東京女子医科大学	7名	お茶の水女子大学	5名	筑波大学	2名
東京教育大学	2名	明治大学	1名	聖心女子大学	1名
中央大学	1名	一橋大学	1名	計	259名

奨学生の主な進路

外務省 総務省 国連 最高裁判所 厚生労働省 国際交流基金
(財)横浜市女性協会 東京大学 東京外国語大学 広島大学 琉球大学
福岡教育大学 広島市立大学 都留文科大学 エディンバラ大学
ケンブリッジ大学 津田塾大学 国際基督教大学 明治大学 法政大学
神奈川大学 東洋学園大学 東京女学館大学 東京情報大学 敬愛大学
名古屋商科大学 NHK サイマル・インターナショナル 東京日仏学院 白水社
日本航空 EY アドバイザリー・アンド・コンサルティング 等

一般財団法人山根奨学基金
奨学生の募集および選考に関する内規

奨学生の募集および選考は下記の手続きによって行う。

〈選考委員会〉

第1条 代表理事の指名により、年度ごとに代表理事を委員長とし、理事・監事・評議員全員で選考委員会を構成する。

〈奨学生の資格・募集〉

第2条 本基金の奨学生となる者は、原則として東京都内の大学・大学院に在学する、学業・人物ともに優秀な女子学生であって、国際的に活躍することを希望し、かつ本基金設立の趣旨に合致すると認められた者であることを要する。

第3条 奨学金は年額300,000円とし、給付期間は奨学生に採用した年度内とする。

第4条 奨学生の募集は下記の要領で行なう。

1. 募集は、奨学生募集要項に沿って、選考委員会が指定する大学に奨学生志望者の推薦を依頼することによって行う。(4月)
2. 推薦を受けた者は、下記の書類を在学校の学長を経て期日までに一括提出する。
 - (1) 奨学生願書
 - (2) 学部長、またはこれに代わる教員の推薦書
 - (3) 成績証明書(大学院生の場合は、学部の成績証明書も含む)

〈選考手続き〉

第5条 奨学生志望者に対してグループ面接を行い、志望者同士の討論および選考委員との質疑応答を通して、(1)学業成績、(2)奨学金志望理由、(3)本基金趣旨の実現に向けての志望者の将来性、(4)思考力、コミュニケーション能力、行動力等を評価し、選考委員会で討議して5名を選ぶ。(7月)

2012・3・29改正

山根敏子略年譜

- 1921・大正10年11月14日 父甚信、母茂世の間に姉淑子、兄乙彦に次ぐ末子として北海道札幌区北13条西3丁目1番地に生れた。
- 1934・昭和9年4月 台北州立第一高等女学校に入学した。
- 1938・昭和13年4月 津田英学塾に入学した。
- 1940・昭和15年8月 マニラで開催の日比学生会議に参加した。
- 1941・昭和16年12月26日 太平洋戦争勃発のため津田英学塾を繰上げ卒業し台北の両親の下に帰った。
- 1942・昭和17年4月 台北帝国大学文政学部文学科に入学し英文学を専攻した。
- 1944・昭和19年9月15日 戦局苛烈のため台北帝国大学を繰上げ卒業した。
- 1950・昭和25年3月 外交官領事官採用試験に合格した。
- 1950・昭和25年4月1日 外務事務官に任ぜられ外務省研修所研修員を命ぜられた。
- 1950・昭和25年7月10日 ガリオア留学生として羽田出発、クインズ・カレッジにてオリエンテーションを受けた後ヴァーモント大学で政治学を専攻した。
- 1951・昭和26年6月1日 この日附を以てヴァーモント大学の課程を修了した。
- 1951・昭和26年11月16日 外務省条約局国際協力課勤務を命ぜられた。
- 1951・昭和26年12月1日 外務省国際協力局第一課勤務を命ぜられた。
- 1952・昭和27年8月23日 在アメリカ合衆国日本国大使館に配置換となり外交官補を命ぜられた。
- 1952・昭和27年9月27日 在ニューヨーク国際連合日本政府代表随員を命ぜられた。
- 1953・昭和28年5月6日 アメリカ合衆国において開催の阿片の生産制限に関する議定書の起草及び採択のための国際会議日本政府代表随員を命ぜられた。
- 1954・昭和29年4月1日 国際連合日本政府代表部に併任となった。
- 1955・昭和30年6月10日 サンフランシスコにおける国連十周年記念特別総会に沢田国連代表の随員として出席した。
- 1956・昭和31年7月25日 帰朝を命ぜられた。
- 1956・昭和31年8月29日 午後6時30分カナダ太平洋航空機307号便でヴァンクーヴァー空港を出発したが飛行機事故のため現地時間8月29日21時45分、日本時間の8月30日16時45分にアラスカ半島のコールド・ベイ海岸で永眠した。
- 同日附を以て三等書記官に任ぜられ従六位に叙せられ勲六等瑞宝章を授けられた。

山根奨学基金奨学生願書

(奨学金交付願)

フリガナ 氏名			生年月日	年 月 日生
在籍大学 又は大学院 (対応する方を○囲み)	大学 大学院	学部 研究科	科 専攻 修・博	年次在籍 年次在籍
研究(卒論) テーマ	大学院生の場合出身大学(大学 学部 科)			
留学・海外 研修経験に ついて	期 間	学校名		国名
	年 月～ 年 月 留学・研修 (いずれかに○)			
現住所	〒			
	e-mail:	TEL	()	
通常時以外 の連絡先	〒			
在学におけ る課外活動 ・趣味				健康状態
現在受けて いる奨学金				
家族構成	続柄	氏名	年齢	勤務先・職名または職業
一般財団法人 山根奨学基金 代表理事 飯野 正子 殿 私、別記理由により山根奨学基金の給与を受けたく、関係書類を添えてお願い申し上げます。 年 月 日 本人署名				年 度 平成 年度 受 付
				印

この願書により収集した情報は奨学生の選考以外には使用しません。

年 月 日

奨学生推薦書

一般財団法人山根奨学基金 代表理事 殿

東京大学 _____ 研究科

(印)

下記の者は、学術、人物ともに優秀であり、貴財団の奨学生として適当と認めますので推薦いたします。

記

申請者	東京大学 _____ 学部・研究科 ____ 年 氏名： _____
推薦所見	